

第6回 空港内の施設の維持管理等に係る検討委員会

議事概要

日時:平成26年12月5日(金)10:00~12:00

場所:国土交通省7階 航空局A会議室

- 地方空港管理者等との連携・支援及び人材育成の推進について
 - ・ 滑走路等のアスファルト舗装などの維持管理において、必要な修繕、更新を適切に実施するには、施設の現状を適切に評価することが重要で、そのためには点検結果を評価・判断できる高度な技術を持った人材の育成が必要である。
 - ・ 空港施設メンテナンスブロック会議において、開催者側は出席者の各空港の特性(交通量、就航機材)が異なることに留意するものとし、出席者側は日頃から空港間で点検結果等の情報共有・交換が行われ、会議は共通の土台に立って議論、情報交換ができるようにしなければならない。
 - ・ 維持管理に係るITを活用したモニタリング技術の開発が必要であるが、現場における目視や打音等による点検技術の伝承も重要で、マニュアルに盛り込む必要がある。研修は、維持管理に関する内容の充実と目視及び打音調査等の現場における技術力の向上が図られる実務ができるようにする。
 - ・ 地方空港管理者等への連携・支援は国総研、港空研等の研究機関等とも連携することが必要ではないか。
- アスファルト舗装の維持管理・更新における点検データの活用について
 - ・ 劣化曲線は幅を持たせることとし、その活用については、これまでの診断において基準としていた考え方を使用することでよいと思われる。
- アスファルト舗装の破損メカニズムと対策の方向性について
 - ・ 舗装破損の事例を追加して、破損発生前後の天候、発生箇所等についてもデータ収集し、発生要因を分析してはどうか。
 - ・ 舗装の破損は構造的な問題だけでなく、配合設計の面での検討も必要と考えられ、その検討については、従来の考え方にも考慮しつつ新しい考え方の導入も必要ではないか。

以上